

「国営沖縄記念公園首里城地区建設の記録」編集にあたって

私が赴任して来た時期は、「国営沖縄記念公園首里城地区」の工事が最盛期にあたる平成4年4月の事でした。その後、平成4年5月15日の正殿内覧会、平成4年11月3日に首里城地区の計画区域約4.7haのうちの約1.7haの一部開園、平成5年4月26日の第44回全国植樹祭に伴う天皇皇后両陛下の行幸啓、平成5年6月29日の常陸宮殿下妃殿下御成り等多くの行事、催しが開催され非常に思い出深い時期となりました。

「国営沖縄記念公園首里城地区」の公園計画に際しては、古絵図、古文書、古写真、古老の聞き取り調査等の収集・解析を基に設計、施工が行われました。このような事例は国営公園の中でも特殊性があり又、今後沖縄史の解明にとっても非常に貴重な資料となると思います。

一部開園までの復元整備にあたっては、約6年あまりの歳月をかけて、多くの委員の方々、関係者の方々のたえまない御尽力と情熱により完成された事をここに表し、感謝の意を申し上げます。

今回の「国営沖縄記念公園首里城地区建設の記録」の編集にあたっては、時代考証、設計、工事過程での検討結果の要点を挿入しつつ、一部開園までに携わった方々の御意見も参考にして編集されています。特に、角南勇二沖縄総合事務局公園調整官、西川清氏（前公園事務所長）、田邊功氏（前出張所長）、村田昇太郎氏（前建設監督官）、橘義満氏（前工事第一係長）、下地勝也氏、山城岩夫氏の協力、株国建の平良啓氏他スタッフの方々の御尽力により完成することとなりました。ここに編集に携わったの方々に対し感謝を致したいと思います。

今後、この「国営沖縄記念公園首里城地区建設の記録」が資料として活用されれば幸いと存じます。

平成6年3月

国営沖縄記念公園事務所首里出張所計画係長

後藤 清正

国営沖縄記念公園首里城地区 建設の記録

発 行 ● 沖縄開発庁沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所

編 集 ● 株式会社 国建

デザイン ● アドリヴ

印 刷 ● 有サン印刷

1994年3月発行

この本に収録した写真
文章等の無断使用を禁じます。

